

取扱施工説明書

施工・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
また、本書は別紙「安全上のご注意」とあわせてご使用ください。

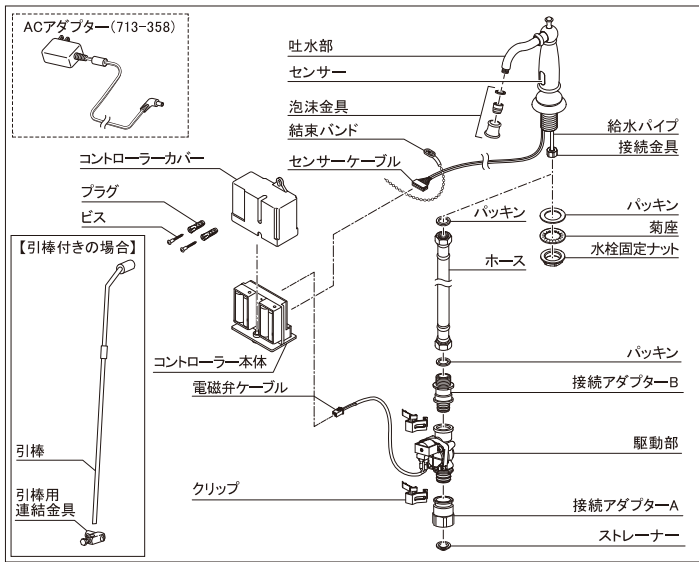
このたびは、当社製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

製品仕様

取付穴径	33~36ミリ
取付厚	5~35ミリ
電源 *1	AC100V 50/60Hz
電池寿命 *2	約2年(100回/1日を目安とする)
消費電力 *3	待機時0.2mW / 動作時最大1.9W
流量	約5L/分(0.2MPa時)
使用圧力	0.05(流動圧)~0.75(静水圧)MPa
使用室温範囲	1~40℃
使用水温範囲	1~40℃(一般上水道・凍結不可)
検知距離 *4	センサー部から約140~150ミリ

- *1: 単3形アルカリ乾電池(4個)も使用できますが、ACアダプター(713-358)と併用しないでください。
- *2: 使用条件・環境により異なります。
- *3: ACアダプター使用時
- *4: 大人の手のひらに対する距離

分解図



* 品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

- 同梱のACアダプター(713-358)以外は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電池とACアダプターは併用しないでください。電池の消耗が極端に早くなる場合があります。

製品同梱明細

施工前に、下記と同梱部材がそろっていることをご確認ください。

分解図にあるものに加えて、

- 共通同梱部材
- 取扱施工説明書 ● 安全上のご注意 ● 保証書 ● 取扱シール

● その他同梱部材

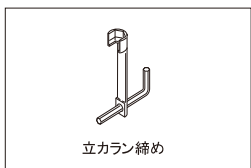
引棒付きの製品には、上記に加えて

- 引棒 ● 引棒用連結金具

を同梱しています。

施工の前に

準備するもの



- * 左記に加えて、
- モンキーレンチ
- プラスドライバー
- マイナスドライバー
- 電気ドリル・ドリルビット(6ミリ)をご準備ください。

施工の前に(つづき)

確認事項

使用条件(給水圧力)について

- * 使用給水圧力範囲は0.05(流動圧)~0.75(静水圧)MPaです。
- * 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- * 快適にご使用いただくために、0.2MPa程度の給水圧力を推奨いたします。
- * 本品は水用です。給水温度は40℃以下にしてください。

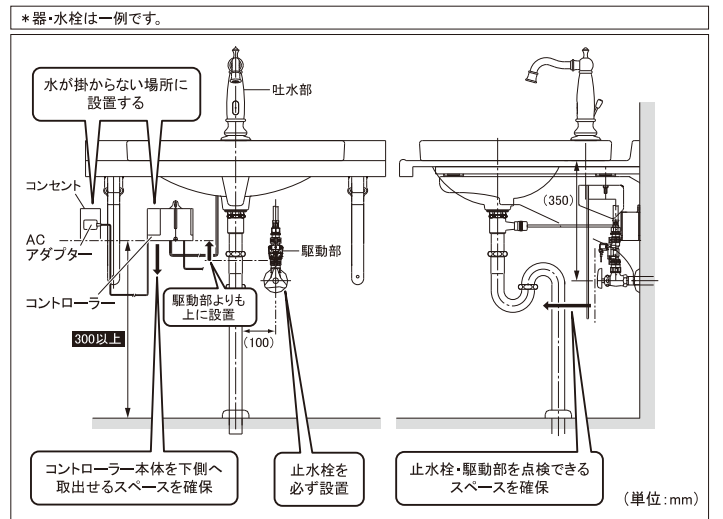
施工寸法および配管・配線について

- * 施工前に「施工例」を参考に給水配管(止水栓)の取出位置をご確認ください。
- * 給水圧力調整および器具の点検・メンテナンスのために、止水栓(別売)を必ず設置してください。
- * コントローラー・駆動部・ACアダプターはキャビネット内の引出しや収納物などに当たらない位置に取付けてください。
- * コントローラー・駆動部・ACアダプターの取付位置を決める際は、各ケーブルやACアダプターのコードが無理な引回しにならないかご確認ください。また、各ケーブルやコードは継ぎししないでください。
- * コントローラーの取付位置を決定する際は、「施工例」の設置条件をご確認ください。
- * コンセントを新たに設置する場合は、ACアダプターがキャビネット内の壁や引出し、収納物などに当たらないかご確認ください。

その他の確認事項

- * センサーを傷つけないよう十分にご注意ください。
- * 温風乾燥機など赤外線を用いた機器と併せて使用する場合は、それらの機器の赤外線ビームが本品のセンサーや器内に入らないようにしてください。
- * インバーターや赤外線を用いた機器により誤動作する場合があります。
- * センサーの検知領域内に障害物が入らないようにしてください。
- * 本製品は屋内用です。屋外では使用しないでください。
- * 梱包前に通水検査をしているため、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題はありません。
- * 以下のような場合、動作に支障をきたす原因となることがあります。
 - 放送局・無線局などの強い電磁波を発する施設(機器など)が近くにある場合。
 - インバーター・赤外線・電波を用いた機器が近くにある場合。
 - 医療機器(各種検査装置など)が近くにある場合。

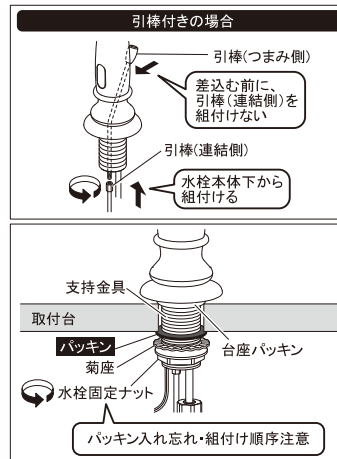
施工例



施工方法

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉じて取付作業を行ってください。

1. 吐水部を取付けます。



- ① 引棒付きの場合は、先に引棒(つまみ側)を吐水部に差込みます。次に、引棒(連結側)を水栓本体下から組付けます。

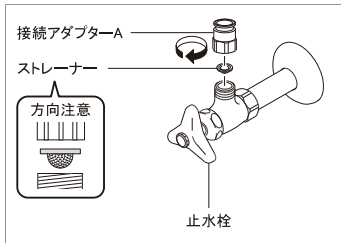
* 吐水部を取付台に設置する前に作業してください。
* 品番によっては、引棒(つまみ側)があらかじめ組付けられている製品もあります。

必ず実行 引棒を差込む際は、差込前に必ず引棒(つまみ側)と引棒(連結側)に分解し、正しく差込んでください。故障・作動不良の原因となります。

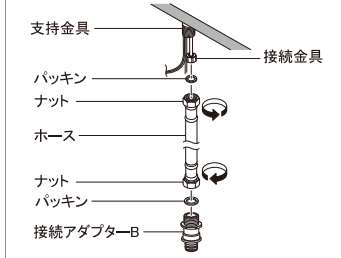
- ② 吐水部を設置する取付穴の穴径を確認し、穴周囲が汚れていないか確認します。
- ③ 支持金具から水栓固定ナット・菊座・パッキンを取外します。
- ④ 取付穴にセンサーケーブル・支持金具の順に通してから、吐水口が正面を向くようにします。
- ⑤ 支持金具にパッキン・菊座・水栓固定ナットを順に通してから、取付位置を調節し、水栓固定ナットを「立カラン締め」などでしっかりと締付け、水栓本体を確実に固定します。

- 必ず実行** ● 吐水部が取付穴の中心になるように固定してください。偏って取付けると、確実に固定されない恐れがあります。
- 吐水部を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力が掛かり器具の破損やゆるみの原因となります。
- 注意** ● 吐水部が正しく固定されないと、グラついたり、取付台下へ漏水を起こす恐れがありますのでご注意ください。
- 水栓固定ナットを締付ける際は、センサーケーブルをかみ込まないようご注意ください。

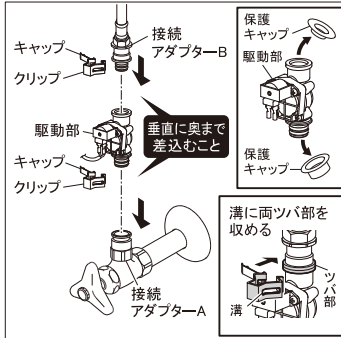
2. 駆動部を取付けます。



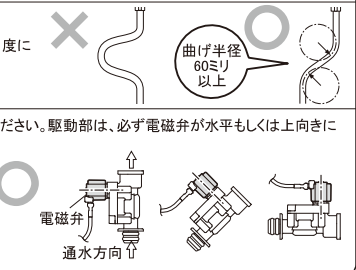
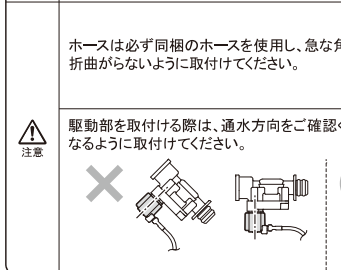
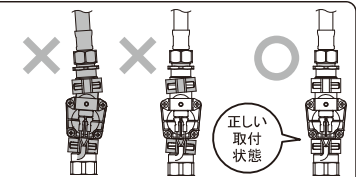
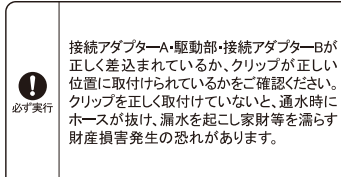
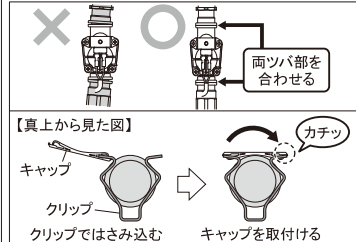
①ストレーナーの網が出ている方を止水栓側に向けて接続アダプターAを入れ、接続アダプターAを止水栓にしっかりと締付けます。
*ストレーナーの向きにご確認ください。



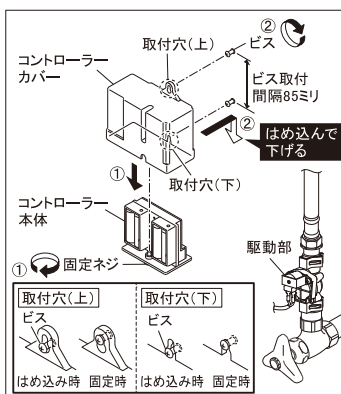
②ホースの片方のナットにパッキンを入れて接続金具にしっかりと締付けて固定し、もう片方のナットにパッキンを入れて接続アダプターBをしっかりと締付けます。



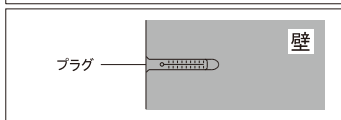
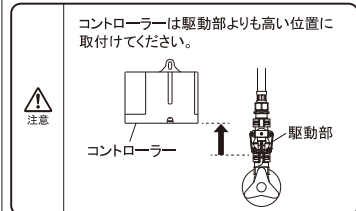
③駆動部の保護キャップを外します。接続アダプターAに駆動部・接続アダプターBの順に垂直に奥まで差込みます。
④クリップの溝に接続アダプターAと駆動部、駆動部と接続アダプターBの両ツバが収まるようにクリップをはめ込み、キャップを取付けます。



3. コントローラーカバーを取付けます。

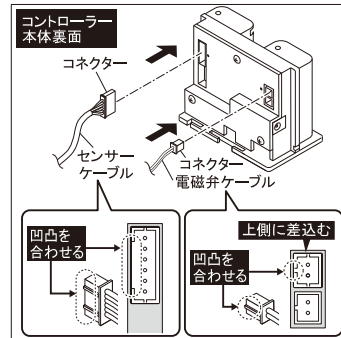


①コントローラー本体底面の固定ネジを手でゆるめ、コントローラー本体をコントローラーカバーから取出します。
②同梱のビスを壁面にねじ込んでから、コントローラーカバーの取付穴(上)(下)にビスをはめ込んで固定します。

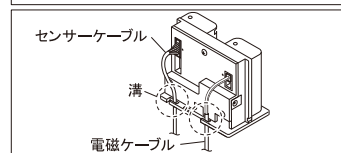


硬質の壁(コンクリート・タイルなど)に取付ける場合
①壁に下穴(穴径6ミリ・長さ25ミリ)をあけます。
②同梱のプラグを下穴に差込み、壁からはみ出さない程度に軽くたたいて埋込みます。
③上記と同様にしてコントローラーカバーを壁に固定します。

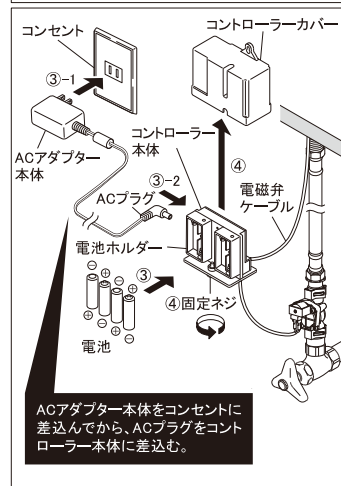
4. 各ケーブルを接続します。



①センサーケーブルおよび電磁弁ケーブルのコネクターをそれぞれコントローラー本体の凹凸にあわせて確実に差込みます。
●コネクターは無理に差込まないでください。
●各ケーブルは折曲げたり、無理に引張る等乱暴に扱わないでください。



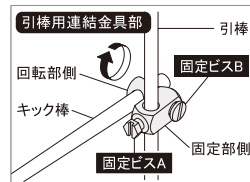
②センサーケーブルおよび電磁弁ケーブルをそれぞれコントローラー本体の溝に通します。



③ACアダプター本体をコンセントに差込んでから、ACプラグをコントローラー本体に確実に差込みます。電池を使用する場合は、電池をコントローラー本体の電池ホルダーに取付けます。
*電池を取付けるもしくはACアダプター本体をコンセントに差込むとセンサーが作動するため、センサーに手をかざしたり、洗面・手洗器内に障害物を置いたりしないでください。

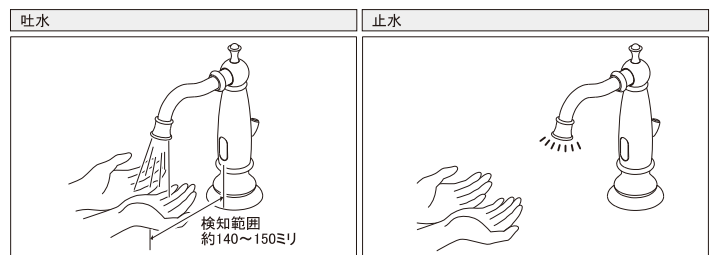
●電池を取付ける際は、極性(⊕⊖)の向きを誤らないように取付けてください。電池の破裂や液もれにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因となる場合があります。
●電池とACアダプターは併用しないでください。電池の消耗が極端に早くなる場合があります。
●新しい電池と古い電池や、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂や液もれにより、ケガをしたり周囲を汚損する原因となる場合があります。
④コントローラー本体をコントローラーカバーに入れてから、固定ネジを手締めて固定します。
●コントローラー本体をコントローラーカバーに入れる際は、各ケーブルをかみ込まないようにご注意ください。

5. (引棒付きの場合)引棒とキック棒を接続します。



ポップアップ排水金具の排水栓を操作するために、排水金具のキック棒と水栓の引棒を接続します。排水金具のキック棒を下げた状態で、引棒用連結金具の固定ビスAを締付けて、引棒に固定します。
*スムーズに作動しない場合は引棒用連結金具の固定位置で微調整してください。
*調整後は、固定ビスA・Bをしっかりと締付けてください。

施工後の確認



①止水栓を開き、各部に漏水がないかを確認します。止水栓を開いた際に吐水口からの水が止まらない場合には、一度止水栓を閉じてから電池およびACプラグを取付け直してください。吐水部内部に定流量弁を内蔵していますので、通常は流量の調節は不要です。止水栓は全開の状態でご使用ください。
漏水が発見された場合は、止水栓を閉じて漏水する箇所を施工し直してください。
②吐水口に手を近づけて水を出し、各部に漏水がないかを確認します。漏水が発見された場合は、止水栓を閉じて漏水する箇所を施工し直してください。水が出ない場合は、【施工方法】4各ケーブルを接続します。に長った、ご確認ください。
取付け後に初めて水を出す場合は、約10~20秒間連続して水を出して流量を安定させてください。
*吐水口から手を離すと約1~2秒で止水します。
*手を近づけた状態で、約30秒間連続して水を出すと、自動的に止水します。再び水を出す場合は、一度手を吐水口から離します。

使用前に

確認事項

- 止水栓について**
止水栓が開いているかご確認ください。
*通常、止水栓は全開でご使用ください。
- 各ケーブルについて**
施工方法 4.各ケーブルを接続します。を参考に、コントローラー本体を取外して各ケーブルが確実に接続されているかご確認ください。
- 電源について**
施工方法 4.各ケーブルを接続します。を参考に、ACアダプター本体がコンセントに確実に差込まれているかご確認ください。

使用方法

吐水口に手を近づけるとセンサーが検知して吐水し、吐水口から手を離すと約1~2秒で止水します。
*手を近づけた状態で、約30秒間連続して吐水すると、自動的に止水します。再び水を出す場合は、一度手を吐水口から離してください。

お手入れ方法

器具のお手入れ いつまでも美しくご使用いただくために。

クレンザー 酸性洗剤 ベンジン
金属たわし

メラミンスポンジ

- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいてください。
- 水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いたやわらかい布でお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いたやわらかい布で水気を拭き取ってください。

注意 金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油やアルコール等は、本品を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

泡沫内芯のお掃除

泡沫内芯
外ケース

ご使用開始時に比べて著しく水の出が悪くなった場合は、吐水口先端の泡沫内芯を取外し、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

ストレーナーのお掃除

接続アダプターA
ストレーナー
止水栓

- 1 止水栓を閉じて止水します。
- 2 固定ネジをゆるめてコントローラー本体を取出します。
- 3 コントローラー本体から電池を取外し、電磁弁ケーブルのコネクターを抜取ります。ACアダプターを使用している場合は、ACプラグをコントローラー本体から抜き、電磁弁ケーブルのコネクターを抜取ります。
- 4 再度コントローラー本体をコントローラーカバーの中に入れ、固定ネジを手で締付けて固定します。

接続アダプターB
キャップ
クリップ
駆動部
キャップ
クリップ
接続アダプターA

- 5 キャップを取外し、接続アダプターA・駆動部・接続アダプターBをとめているクリップを取外します。
- 6 接続アダプターB・駆動部を真上に引いて、取外します。

注意 配管内に水が残っている恐れがあります。止水栓の下にバケツ等を置き、ACアダプターやケーブルのコネクター、周囲のもの等を濡らさないようご注意ください。

お手入れ方法(つづき)

ストレーナーのお掃除(つづき)

接続アダプターA
ストレーナー
止水栓

- 7 接続アダプターAをゆるめ、止水栓から取外します。
- 8 接続アダプター内にあるストレーナーを取出し、網目に詰まったゴミを取除きます。
- 9 ⑤~⑧の逆の順番で元に戻します。

両ツバ部を合わせる
溝に両ツバ部を収める
溝に両ツバ部を合わせる

【クリップを上から見た図】
キャップ
クリップ
クリップではさみ込む
キャップを取付ける
カチッ

注意 元に戻す際に接続アダプターA・駆動部・接続アダプターBが正しく差込まれているか、クリップが正しい位置に取付けられているかを図を参考にご確認ください。クリップが正しい位置に取付けられていないと、通水時にホースが抜け、漏水を起こす恐れがあります。

ACアダプター本体
コンセント
コントローラーカバー
コントローラー本体
固定ネジ

コントローラー本体表面
センサーケーブル
コネクター
電磁弁ケーブル
センサーケーブル
溝
電磁弁ケーブル
上側に差込む
凹凸を合わせる

- 10 コントローラー本体の固定ネジをゆるめてコントローラー本体を取出します。
- 11 電磁弁ケーブルのコネクターとコントローラー本体の凹凸を合わせて確実に差込み、溝に通します。

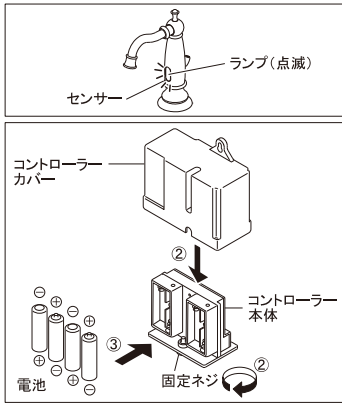
ACアダプター本体
コンセント
ACアダプター本体
コントローラー本体
ACプラグ
電池ホルダー
電池
固定ネジ
電磁弁ケーブル
コントローラーカバー
止水栓

- 12 電池をコントローラー本体の電池ホルダーに取付けます。ACアダプターを使用する場合は、ACプラグをコントローラー本体に差込みます。
*電池を取付けるかACアダプター本体をコンセントに差込むとセンサーが作動するので、センサーに手をかざしたり、洗面手洗器に障害物を置いたりしないでください。
- 13 コントローラー本体をコントローラーカバーに入れ、固定ネジを手締めて固定します。
- 14 止水栓を開き、各部に漏水がないか、および動作の確認を行います。
*止水栓を開いた際に水が止まらない場合は、一度止水栓を閉じ、電池またはACアダプター本体を取付け直してください。
止水栓は全開にします。
約10~20秒間連続して吐水し流量を安定させてください。

禁止 電池とACアダプターは併用しないでください。電池の消耗が極端に早くなる場合があります。

注意 コントローラー本体をコントローラーカバーに入れる際は、各ケーブルをかみ込まないようにご注意ください。

電池の交換



センサー部のランプが点滅(約2秒間隔)したら、下記の手順で電池を交換してください。
*電池が完全に消耗すると、ランプの点滅が早く(約0.5秒間隔)なり、手を近づけても水が出なくなります。

- ①止水栓を閉じて水を止めます。
- ②コントローラー本体の固定ネジをゆるめ、コントローラー本体をコントローラーカバーから取出します。
- ③コントローラー本体から古い電池を取外し、新しい電池を取付けます。
*電池を取付けるとセンサーが作動するので、センサーに手をかざしたり、洗面手洗器に障害物を置いたりしないでください。
- ④①～②の逆の手順で元に戻します。

- 必ず実行** 電池を取付ける際は、極性(⊕/⊖の向き)を正しく取付けてください。電池の破裂や液もれにより、ケガや周囲を汚損する原因となる場合があります。
- 禁止** 新しい電池と古い電池や、異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂や液もれにより、ケガや周囲を汚損する原因となる場合があります。
- 注意** コントローラー本体をコントローラーカバーの中に入れる際は、各ケーブルをかみ込まないようにご注意ください。



お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせいただく際、水栓本体にシールが貼付けられている場合は、そちらで品番をご確認ください。



説明書に記載された箇所以外は絶対に分解したり、改造・修理しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

こんな時には… 簡単な点検と対処

簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処	
吐水量が少ない	止水栓が閉じている	止水栓を全開にする	
	ストレーナーが目詰まり	ストレーナーを掃除する	
	泡沫内芯が目詰まり	泡沫内芯を掃除する	
	水がきいていない	止水栓または元栓を開く	
	止水栓が閉じている	止水栓を全開にする	
	ストレーナーが目詰まり	ストレーナーを掃除する	
	電池が正しく取付けられていない	電池の極性(⊕/⊖の向き)を正しく取付ける	
	電池が消耗している	新しい電池に交換する	
	ACアダプターが正しく取付けられていない	ACアダプターをコンセントおよびコントローラー本体に正しく接続する	
	各ケーブルが正しく接続されていない	各ケーブルを正しく接続する	
吐水不良	センサーの表面が汚れている	センサーの表面を掃除する	
	センサーの前に障害物がある	障害物を取除く	
	センサーの表面が汚れている	センサーの表面を掃除する	
	センサーの前に障害物がある	障害物を取除く	
	インバーターや赤外線を用いた機器が近くにある	該当する機器を遠ざける	
	他の機器の赤外線ビームが本品のセンサーや洗面手洗器内に入っている	該当する機器を遠ざける	
	吐水不良	水が止まらない	センサーの表面が汚れている
		水が止まらない	センサーの前に障害物がある
		水が止まらない	インバーターや赤外線を用いた機器が近くにある

以上の点検を行っても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店(水道工事店)にお問い合わせください。

エラー表示について センサー部のランプが点滅したときは

点滅パターン	エラー内容と対処のしかた
約2秒毎に点滅 約2秒 約2秒	電池の交換時期を示す表示です。早めに新しい電池に交換してください。
約0.5秒毎に点滅 約0.5秒 約0.5秒	電池の消耗を示す表示です。手を近づけても水が出ませんので新しい電池に交換してください。
約2秒毎に2回点滅 約2秒	センサーの検知異常を示すエラー表示です。センサー表面の水滴や汚れ、センサーの前にある障害物を取除いてください。

故障ではない現象について

現象	理由
センサーから手を離しても約30秒間止水しない	センサーの表面の水滴や汚れ、センサーの前の障害物をセンサーが誤検知し、連続して約30秒間水を出したと判断して自動的に止水するためです。センサーの表面は常にきれいにしておき、センサーの前に障害物がないようにしてください。
水が出たり出なかったりする	センサーの表面の水滴や汚れ、センサーの前の障害物をセンサーが誤検知しているためです。センサーの表面は常にきれいにしておき、センサーの前に障害物がないようにしてください。



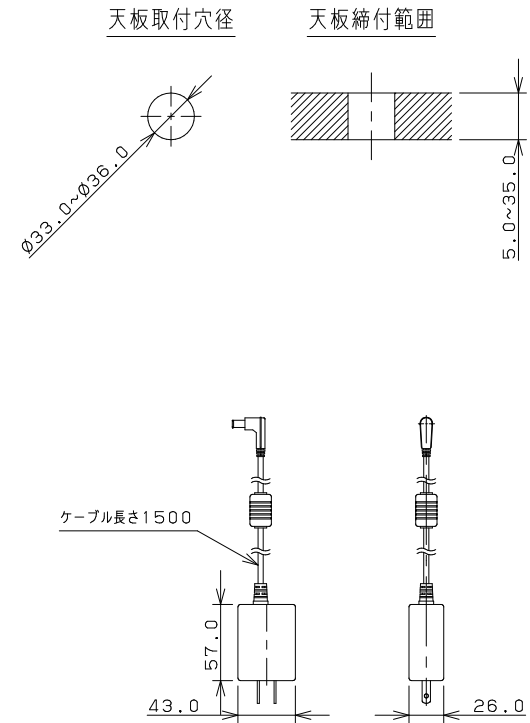
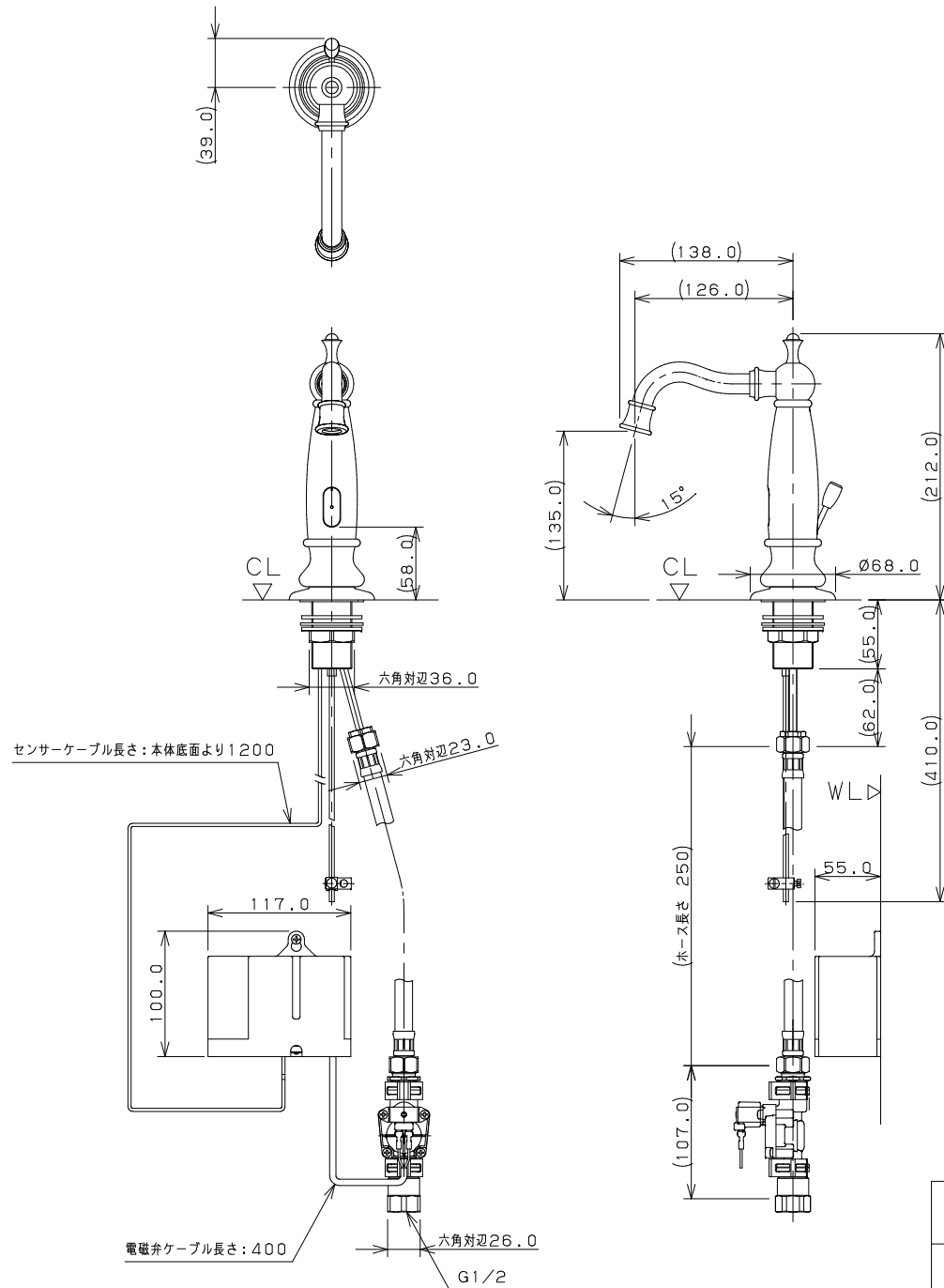
本 社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0222GF

M-B6302

無断転載・複写を禁ず



- ※1 () 内寸法は参考寸法である。
- ※2 止水栓を必ず設置すること。
- ※3 フレキホースは曲げ半径39mm以上を確保すること。

	単位 mm	尺度	1/4	製 図	検 査	承 認	品 番
				黒 崎	山 田	祝	713-
				2020年09月24日 作成			品 名
							センサー水栓